

ハイチへ医師派遣

AMDA菅波代表ら5人

国際医療ボランティア
 アAMDA（本部・岡山市北区伊福町）
 は1日から、コレラの感染が広がっているハイチへ、医師の菅波茂代表ら5人を派遣する。

出発し、10日までに現地地で合流する。医療品の配布や衛生指導、義肢製作支援活動を行う。

菅波代表や本部職員
 のニッティヤン・ヴィーラヴァーグ調整員
 〓岡山市〓ら4人が同日、長崎市在住の男性医師が8日に日本を

AMDAなどによると、11月8日現在で約800人だったコレラによる死者は、同月20日現在で1415人に増加し、患者数は6万2400人。ハイチは1月の大震災で20万人以上が犠牲になった。

2010年(平成22年)12月1日 水曜日